

ナガエツルノゲイトウ対策GIS研修の実施（2026年1月15日：県加古川総合庁舎）

ナガエツルノゲイトウの防除を計画的に進めるため、要対策箇所（発生箇所）と対策済箇所の位置等の情報を地図（GIS）に記録し、蓄積するとともに、その地図を関係者で共有するようにしたい。職員が自らGISを操作できるようになる必要があることから、専門家を招いて研修を行った。

【日時】2026年1月15日（木）13:30～16:30

【場所】兵庫県加古川総合庁舎 2階 会議室A

【講師】兵庫県立人と自然の博物館 三橋 弘宗 主任研究員

【参加者】・兵庫県特定外来生物対策本部東播磨地域部会
ナガエツルノゲイトウ対策チームメンバー（県職員）
・兵庫県環境部自然環境鳥獣共生課職員 計11名

【内容】

1）GISに関する基本的事項の講義

・GISの仕組み ・GISを活用することの利点 ・位置情報をどう表現するか 等

2）GISの基本的な操作方法の実習

※各自のPCに事前にインストールした「QGIS」というソフトウェアを実際に操作

- ・日本地図の白地図をダウンロードして表示する方法
- ・WEB上の様々な地図を表示する方法（XYZタイル）
- ・自分で採ったデータを地図上に入力する方法 ・データの管理方法 等

【主な成果】

- ・誰でも無料で使えるQGISが世界中の専門家の技術の結晶であることを学べた。
- ・QGISで扱える無料の地図やデータがWEB上に無数に存在することを学べた。
- ・特定外来生物対策に有効なGISが職員自ら操作できるものであることを学べた。
（早速年度内からQGISを用いて要対策箇所と対策済箇所の管理を行う予定）
- ・閉会後も講師を囲んで意見交換が行われ、GISが様々な施策に使えることを学べた。

